

## 法務大臣に提出された要望書等の要旨

法務大臣に提出された要望書等の要旨  
(令和元年9月以降)

- 大分市議会（令和元年9月17日）
  - ・ 昨今、急激にあおり運転が社会問題化しており、死亡事故等の重大事故を誘発する事案や高速道路の走行帯等に停車させて暴行を加えるなどの事案も発生していることから、あおり運転を防止するための有効な法整備を要望。
- 取手市議会（令和元年9月20日）
  - ・ あおり運転をはじめとする危険な運転行為に対する厳しい罰則の法整備等を要望。
- 小金井市議会（令和元年9月26日）
  - ・ 安易にあおり運転を行う者が絶えないのは、現行の法律にあおり運転そのものを罰する規定がなく、あおり運転の明確な定義もなされていないことが要因の一つとして考えられるため、あおり運転に該当する罪を新設するなどして、厳罰化に向けた法整備を早急に進めること等を要望。
- 相模原市議会（令和元年10月2日）
  - ・ 自家用車のみならず、タクシー等の公共交通においても、あおり運転による危険が生じた事例が多数あり、市民の安全・安心を脅かしている。あおり運転の対策のため、道路交通法の関係規定の罰則強化や新たな法整備等の対策の加速を要望。
- 埼玉県議会（令和元年10月11日）ほか1市議会
  - ・ あおり運転を禁止する規定を新設し、違反した場合には罰則を設けるなど、あおり運転を直接的に厳しく取り締まるための法整備を早期に行うこと等を要望。
- 兵庫県議会（令和元年10月25日）
  - ・ あおり運転につながる危険な運転が未だに多く発生しており、あおり運転による事故の危険性が高い状況にあることから、あおり運転自体を処罰する規定の創設等を要望。
- 奈良県議会（令和元年12月16日）ほか5市議会
  - ・ あおり運転の厳罰化について、海外の事例なども参考としながら、実効性のある法改正となるよう早急に検討を進めること等を要望。
- 三重県議会（令和元年12月20日）
  - ・ 社会問題化しているあおり運転を根絶し、安全・安心な交通社会を構築するため、その厳罰化を図る法改正を早急に進めること等を要望。